

「情報モラルの向上」に関する研究の概要

テーマ

情報通信ネットワークを健全に活用できる生徒の育成

ねらい

目的の情報を収集し、その情報の真偽や安全性を正しく判断できたり、高度情報通信社会の規則やモラルを正しく理解し、行動できたりするなど、情報化社会に生きる力を培い、ネットワーク等の情報技術を健全に活用できる生徒を育成する。

目指す生徒像

インターネットや新聞・雑誌などの情報の真偽や安全性を判断することができる。情報化社会のモラルについて、自分との関わりの中で正しく理解し、正しく行動しようとする。

研究の内容

情報技術の健全な活用 《各教科等》

- 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用し、必要な情報を収集・処理したり、表現したりする能力を養う。
- 与えられた情報の真偽を判断し、健全に情報を扱うことができるようにする。

高度情報通信社会におけるモラルの滋養

《技術・家庭科，学級活動》

法令等で規定されている著作権や個人情報の保護について、正しく理解でき、遵守できるようにする。

《道徳，学級活動》

携帯電話の使用方法，チャット・掲示板の利用方法を通して、情報化社会の中で互いが快く生活するためのモラルを育てる。

情報通信ネットワークについての環境整備

「水上中学校教育情報ネットワーク利用ガイドライン」の作成  
○Webページの運用，インターネットの利用について規定する。

教職員の研修

- 情報教育に対するルールやモラルについての研修を推進する。
- 著作権や個人情報の保護について、正しく認識し、それらの保護について十分留意する

情報機器やソフトウェア等の整備  
○生徒や教職員が正しく活用できるような環境づくりに努める。  
○情報モラルに関する指導用ソフトウェア等について整備する。

保護者への啓発

- 懇談会の席上で、携帯電話等の被害について説明する。
- 啓発紙を配布する。